

⑬ 日本国特許庁 (JP)

① 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57-25556

⑤ Int. Cl.³
F 16 H 7/08

識別記号

庁内整理番号
6361-3J

④ 公開 昭和57年(1982)2月10日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

④ チェンアジャスタ

① 特 願 昭55-100261

② 出 願 昭55(1980)7月22日

③ 発 明 者 横木要之助

静岡県引佐郡細江町2277-60

⑦ 出 願 人 鈴木自動車工業株式会社

静岡県浜名郡可美村高塚300番
地

⑧ 代 理 人 弁理士 猪股清 外2名

明 細 書

発明の名称 チェンアジャスタ

特許請求の範囲

帯状でノ字状に反ったアジャスタの基端を機枠に
回動自在に軸着してチェンに付わせ、アジャスタに
基端を軸着したステアの先端を機枠に当て、ステア
に揺動自在に取着した楔片の先端をアジャスタの表
面に設けたガイドに当て、楔片とアジャスタの基端
間にバネを張設したことを特徴とするチェンアジャ
スタ。

発明の詳細な説明

この発明は油動用のチェンを常に張った状態に保
つようにしたチェンアジャスタの改良に関する。

4サイクルエンジンのカムシャフトをチェンで駆
動するような場合、チェン使用に伴って伸びて弛む
のを防ぐため、チェンの一端にアジャスタを設け、
アジャスタをバネで押付けるようにして、チェンを

常に張った状態に保つようにしている。チェンは駆
動トルクの変動があるので、アジャスタに、一方向
押し出し片を連結し、アジャスタが戻つて、チェンが
弛まないようにしている。この一方向押し出し片はロ
ッド、バネ、一方向爪、爪押しバネ等でできていて、
構造が複雑で、部品点数も多くなり、製造コストが
高くなり、組立てにも手数を要している。

この発明はかかる点に鑑み、安価に製造できるよ
うに改善したもので、以下図面に示す本発明の実施
例について説明する。

図は4サイクルエンジンのカム軸駆動にチェンを用
いた例で、クランク軸1の駆動スプロケット2と
カム軸3の従動スプロケット4にチェン5を巻掛け
て、クランク軸1にカム軸3を従動させるものであ
る。而して本発明は、帯状でノ字状に反ったアジャ
スタ6の、図では下側の基端を軸7で機枠8に回動
自在に軸着し、チェン5に付わせる。アジャスタ6
の基端に近い箇所には、軸9でステア10の基端を軸
着し、ステア10の先端は機枠8に当てる。ステア10
は中央に長孔11が設けてあつて、楔状にした楔片12

を摺動自在に挿入する。覆片12は先端をアジャスタ6の裏面に一体的に設けたガイド13に当て、覆片12とアジャスタ6の基部間にバネ14を張設する。

作用について説明する。

クランク軸1が回転すると、チェーン5を介してカム軸3が従動する。チェーン5は長期間使用すると伸びて弛みができる。このとき、覆片12はバネ14に引張られて下側に移動し、ステア10とガイド13の間に入り込み、アジャスタ6をチェーン5側に押し出し、チェーンを緊張する。覆片12は一度押し込むと、戻作用が働くので再び上側に戻ることはなく、駆動トルクの変動があつてもアジャスタ6が戻ることはなく、チェーン5が弛んでばたつくことがない。

以上説明したように、この発明は、帯状でノ字状に反ったアジャスタの基端を機枠に回転自在に軸着してチェーンに附わせ、アジャスタに基端を軸着したステアの先端を機枠に当て、ステアに摺動自在に取着した覆片の先端をアジャスタの裏面に設けたガイドに当て、覆片とアジャスタの基部間にバネを張設したので、バネが覆片を入り込ませる作用とアジャ

スタをチェーンに押付ける作用を兼ねることができる。そして、部品点数が少く、製造及び組付けが簡単できて、安価に製作できる。又、覆片は一度入り込めば、戻作用で戻ることがないので、チェーンに駆動トルクの変動があつても、チェーンが弛んでばたつくことがない。

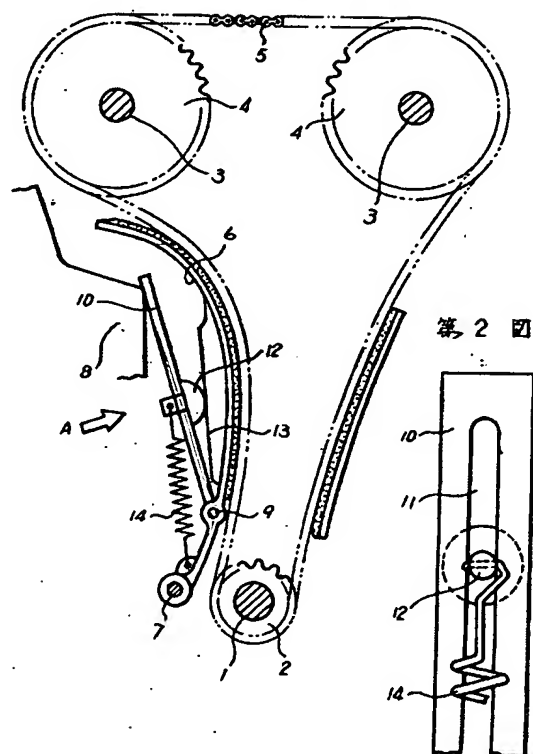
図面の簡単な説明

図は本発明の一実施例を示し、才1図は正面図、才2図は才1図A矢視部分拡大側面図である。

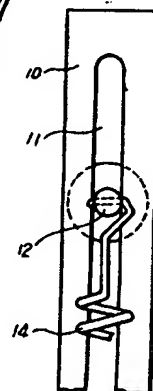
5-チェーン、6-アジャスタ、8-機枠、10-ステア、12-覆片、13-ガイド、14-バネ。

出願人代理人 緒 股 清

第1図



第2図



PAT-NO: JP357025556A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 57025556 A

TITLE: CHAIN ADJUSTER

PUBN-DATE: February 10, 1982

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YOKOKI, YONOSUKE

INT-CL (IPC): F16H007/08

US-CL-CURRENT: 474/111

ABSTRACT:

PURPOSE: To simplify the structure of a chain adjuster by wedging a wedge piece to be easily slid to push a chain on the backside of an adjuster arranged along the chain as using a spring for preventing the chain against fluttering caused by the loosening of the chain.

CONSTITUTION: An adjuster 6 is pivoted to be turnable on a machine frame 8 by a shaft 7 in its lower basic end, and arranged along a chain 5. A stay 10 is pivoted by a shaft 9 in its basic end, and applied to the machine frame 8 at its top. When a crank shaft 1 is rotated, a cam shaft 3 is driven via the chain 5. When the chain 5 is used for a long duration, it is extended and loosened. At this stage, a wedge piece 12 is pulled by a spring 14 and shifted downward. It is wedged between the stay 10 and a guide 13, and the adjuster 6 is pushed to the side of the chain 5 to tighten the chain. The wedge piece 12, once wedged in, cannot be returned upward by the work of wedging. Even if the driving torque is changed, the adjuster 6 cannot be pushed back, and the chain 5 is prevented against loosening and fluttering.

COPYRIGHT: (C)1982,JPO&Japio

———— KWIC ————

International Classification, Main - IPCO (1):

F16H007/08